

## 第 16 回企画運営委員会（12.6.4）のまとめ

---

平成 24 年度最初の企画運営委員会は通算で 16 回目となり、6 月 4 日（月）に江南区役所多目的ホールで開催されました。

今回は、平成 24 年度の事業展開について、事務局案を説明した後、内容について検討を行いました。話し合いの内容は以下のとおりです。配付資料とあわせてご覧ください。

### 平成 24 年度の事業展開について

平成24年度の事業展開の案として、これまで培ってきた区内の福祉ネットワークを活かし、互いに協力し合うことで解決できそうな課題に対して具体的な解決策の検討や実験プロジェクトを2つ行うことが説明されました。さらに、テーマの1つとして「地域福祉マップづくり」が提案されました。

#### 【事業展開およびテーマ設定について】

過去3年間でできたネットワークをこれからどう活かすか、何をするか考えたい。

→○これまではネットワークづくりが目的だったので、広げる方向で進めてきたが、これからは広げたものを一度絞り込んでもいいのではないかと。地区ごとに何か行う、など。

○今年のテーマは、H22年度に行った配食サービスガイドブック制作のような“実行を伴うもの”にする。さまざまな人が参加する実行委員会形式で進めていきたい。

#### 【事業の実施体制について】

○ネットワークづくり交流会の運営（受付や会場設営等）など、企画運営委員の関わりも考えたい。

#### 【実験プロジェクトのテーマ案・地域福祉マップづくりについて】

○これを実験プロジェクトの1つとしてやってみてはどうか？ただし、「どこまでやるか」を考えなければならない。

- 地域福祉マップづくりは、地図づくりを通じた情報共有が目的であり、できあがった地図が重要ではなく、何かに活用するというものでもない。まずは地域全体を知ることが大切であり、誰とつながっているかが重要。公開はしない。
- 孤独死・孤立死を防ぐ目的がある。
- 対応法の情報もあるといい。
- 「見守り」に活用しても責任を負わないことが大切。
- 提供する情報として、何を“心配のタネ”にするか。
  - ・何気ない会話からわかる情報のみを使う。
  - ・個人情報として出せないものもある。
- 確実な情報があると役に立つ。
  - ・自治会長さんの中にはあまり情報を持っていない方もいる。マップづくりを容認してもらうことが大切だ。
- 状況は変わっていくので、変化に対する対応も必要ではないか？
  - ・地図自体を更新するものではないようだ。必要であれば、という程度。
- 災害時支援で集めた情報も活用できるのではないか。あるものに付け加えるほうがいい。
- 目的は理解できるが、「マップづくり」という言葉で誤解を生みそうだ。
- 実施は難しいのではないか。
- ヨソの家のことを話すのには抵抗があるのではないか。
  - ・そのような心配があるので、きちんと講義を受けるそうだ。
- もう少し勉強が必要だと思う。実行委員会で検討してみてはどうか。

#### ■まとめ（決定事項）

- 7月に行う「福祉のネットワークづくり交流会」において実践地域の方からお話を聞くので、その後、事務局側で実施の可能性を判断しながら検討する。

#### 【実験プロジェクトのテーマについて】

- もう1つのテーマをどうするか。
- 〈テーマのアイディア〉長くやっている茶の間の課題を話し合う。
  - ・木津地区の課題としては、認知症の方が増えていること。そのような方はお茶の間に来ないでディサービスに行ってしまう。
  - ・ころころ53では、トイレの問題がある。また、わざわざタクシーで来訪する人もいる。

- マップづくりの情報共有により、認知症などの地域課題への対応を考えるきっかけになるかもしれない。
- 〈テーマのアイデア〉各地の茶の間の運営方法の工夫を披露する。
- 茶の間にはすごい人材が多くいるので、ネットワークづくり交流会に来てもらいたい。

## 第6回福祉のネットワークづくり交流会の企画案について

今年度の事業のスタートとして行う福祉のネットワークづくり交流会（7月5日開催）について、資料で提示された案をもとに内容の検討を行いました。

### 【テーマ～若者のボランティアについて】

- 江南区には大学がないが、中高生のボランティア活動はある。
  - ・中学生に焦点を当てるのもよい。
  - ・高校生と大学をつなげることもできそう。
  - ・地域教育コーディネーターを活用することも考えられるが、どんな情報を持っているか、よくわからない。地域側からのアプローチへの対応が鈍いケースもある。
  - ・江南区内に大学はないが、大学生自身は学校がある地域に限らず活動フィールドを求めている。
- 自分たちが求めるボランティアについて情報発信できていないようだ。
  - ・交流会がきっかけになるといい。
  - ・後半の意見交換にはパネリストの学生にも加わってもらう。
- 「ボランティア倍増計画」と絡めてはどうか。
- 各地域ごとに話し合いができるグループ分けたといい。
  - ・各自治会への参加の声かけは区で行う。

### ■決定事項

企画案の内容はおおむね了承され、今回の話し合い結果を参考に、詳細な内容を事務局で検討することとなりました。

以上です。今後もしもご協力をどうぞよろしくお願いいたします。